



平成26年2月13日

各位

会社名 豊商事株式会社
代表者の役職名 取締役社長 石黒文博
(JASDAQ・コード番号8747)
問い合わせ先 常務取締役管理本部長 多々良孝之
電話番号 (03)3667-5211(代表)

平成26年3月期第3四半期累計の連結業績見通しに関するお知らせ

平成26年3月期第3四半期累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日)の連結業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので速報値としてお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みですので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成26年3月期第3四半期累計期間の業績速報値及び業績の差異 連結

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
前年同期実績 (平成25年3月期第3四半期累計) (A)	2,933	△217	△217	△165
当第3四半期連結累計期間実績見込み (平成26年3月期第3四半期累計) (B)	3,235	△88	△26	△61
増減額 (B-A)	302	129	191	103
増減率 (%)	10.3	—	—	—
(参考) 平成25年3月期実績	4,435	173	111	△147

2. 差異が生じた理由 連結業績見込み

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日)においては、日本銀行の黒田新体制下の「量的・質的金融緩和」、別名「異次元金融緩和」が導入されたことから、景気動向に対し明るい兆しが見え始め、大手企業を中心に株価が上昇するなど、幸先の良いスタートとなりました。一方、世界経済は、米国の復活による穏やかながら景気回復の兆しが見られるものの、中国の安定成長への移行による中国経済減速などが懸念され、先行き不透明な状況が続いておりますが、商品先物取引の出来高は975,914枚(前年同期比36.3%減)及び金融商品取引等の出来高は1,854,129枚(前年同期比118.5%増)となり、受取手数料は2,873百万円(前年同期比2.8%増)、売買損益は328百万円の利益(前年同期は102百万円の利益)となる見込みであり、営業収益は3,235百万円(前年同期比10.3%増)、経常損失26百万円(前年同期は217百万円の経常損失)、四半期純損失61百万円(前年同期は165百万円の四半期純損失)を計上する見込みであります。

以上